

令和元年度 事業報告（総括）

「陶町明日に向けて街づくり推進協議会」は、昭和 61 年に設立して以来 33 年が経過しました。

その間、陶町の発展につながるさまざまな活動を展開してまいりました。中でも、世界ギネスに認定された「世界一の美濃焼こま犬」、「世界一の茶つぼ・豊穰の壺」の制作や、「六連房式登り窯・陶与左衛門窯」は、大勢の地元の人達の力の結集により築き上げられたものです。この町民の皆様の力こそが街づくりの宝であり、支えであります。

令和元年度は、「陶町民が力を合わせて活力あるまちづくりをめざす」を基本理念とし、自分達の愛する陶町を自分達の手で元気にするため、町民の皆様と力を合わせて活動に取り組んでまいりました。

平成 19 年より他地区に先駆けて取り組んでいる「安心安全にくらせる町づくり」の根幹を成す防災推進事業では、先進地に学ぶため、三重県紀宝町を訪問しました。この地は、平成 23 年 9 月に大雨による河川の氾濫、土石流により、甚大な豪雨災害に遭った地域です。町民全員が防災リーダーであること、自助・共助の意識を高めることなど、陶の町でも見習うことの多さを学びました。

また、協議会が陶公民館の指定管理を平成 23 年度より始めて 9 年が過ぎましたが、今のところ順調に運営されております。

協議会は、①企画広報部会、②与左衛門部会、③文化教育部会、④生活環境部会、⑤セーフティーネット部会の 5 つの専門部会に分かれて、それぞれが進める継続事業に加えて、協議会としてその時期に必要な全体事業を企画して取り組んでまいりました。

今年度も「夢づくり地域交付金事業」を活用した事業に取り組みました。

①交流人口拡大事業（主担当：企画広報部会、与左衛門部会）

陶与左衛門窯祭り、桜ヶ丘公園の桜まつり、陶子連の「追跡ハイク」、「どんど焼き」、「陶一周駅伝競走大会」などのイベントに参加・協力し、交流人口の拡大に努めてまいりました。

②広報活動事業（主担当：企画広報部会）

アプリケーション SUE を通じ、協議会活動を町民の皆様に伝える活動をしました。活動の見える化に取り組み、A4・8ページで写真を主体にした報告としました。

また、情報をスピーディーに届けるツールとしてホームページを活用しました。

③文化振興事業(主担当:文化教育部会)

文化のかおり高いまちづくりをめざして、今年度も、町民の皆さんをはじめ、多くの方が楽しめるような催しものとして、「ミニコンサート」、「真夏の夜の映画会」、「あ・うんコンサート」を開催しました。

中馬街道保全活動として、地元陶小学校6年生児童(15名)とともに陶町全域を散策。陶町の史跡・歴史・文化を部会員が解説しながら同行し、郷土の歴史を学んでももらいました。

④環境美化事業(主担当:生活環境部会)

陶町内を花で飾り、美化の啓発につなげ、ごみの無い街づくり、ごみを出さない街づくりをめざしました。

生活環境部会が中心になって、町民の皆様と一緒に、種まき、ポット移植をして咲かせた花(パンジー、ビオラ、マリーゴールド、サルビア)を、陶小学校、陶幼稚園、町内の施設、長寿会に配布し、育ててもらっています。

国道363・国道419・小里川ダム周辺の清掃奉仕作業を行いました。

⑤安心・安全に暮らせる街づくり事業(主担当:セーフティーネット部会)

町内の「近所力」向上につなげるため、災害時を想定した安否確認訓練・一時避難訓練や防災・減災ステップアップ教室として、パッキング体験、防災倉庫の備品確認を行いました。また、近年多発する豪雨災害に対応する知識を得るため、防災先進地視察として三重県の紀宝町を訪問し、改めて「自助+共助+近所」の大切さを学びました。

⑥福祉事業(主担当団体:すえふるさと福祉村)

毎月開催のサロン一歩では、平均150名前後の参加者に、健康相談、住民福祉相談に応じています。

東濃厚生病院の看護師が中心の東海地区看護師グループ7名による「脳卒中」講演会には80名の聴講者があり好評でした。

⑦すえっこ育成事業(主担当部会:企画広報部会)

各地域、公共機関、イベント主催者等の参加要請に応じて現地に赴き、陶町イメージキャラクターの知名度を上げ、街の宣伝等の活動をしました。

夢づくり地域交付金事業は、令和2年度も引き続き取り組んでまいりますので協力くださるようお願いいたします。

今後とも当協議会は、「陶町に住んでいて良かった・いつまでも住み続けていきたい」と言われるようなまちづくりを目指して、町民と行政が協働して活動をしてまいりますので、皆様方の一層のご支援とご協力をお願いいたします。